研究課題	日本の緩和ケア病棟に入院中のがん患者に対するリハビリテーションの有効性を調べるための前向き観察研究：実施可能性に関する予備的研究
試料・情報の収集・利用目的	終末期がん患者に対するリハビリテーションの有効性を調べるための研究の実施可能性について検討
試料・情報の収集・利用方法	■ カルテ閲覧 □ アンケート □ 聞き取り □ 侵襲的方法 □ その他（ ）
試料・情報の収集源	□ カルテ □ カルテ以外 （ ） □ 人体から取得された試料 （血液、尿、組織、標本、その他）
利用し、又は提供する試料・情報の項目	■ カルテ情報 （病歴、看護記録、処方歴、検査結果、その他 ） □ アンケート内容 □ 聞き取り内容 □ その他（ ）
提供方法（ある場合）	□ 郵送 ■ 電子媒体 □その他（ ）
利用する者の範囲	□ 院内のみ ■ 院外の参加者あり □ 提供先（ リンク先 ）
試料・情報の管理について責任を有する者	所属；市立芦屋病院 職名；リハビリテーション科 氏名；西山菜々子
利用又は他の研究機関への提供を拒否できる機会	■ 保障 □ 保障不可能 □ 未定
研究対象者又は代理人の求めの受付方法	□ 郵送 ■ メール □ ホームページの指定フォーム入力 □ 病院受付 □ 電話 □ その他（ ）

届出の承認後、枠内の項目を病院のホームページなどで通知、公開します。